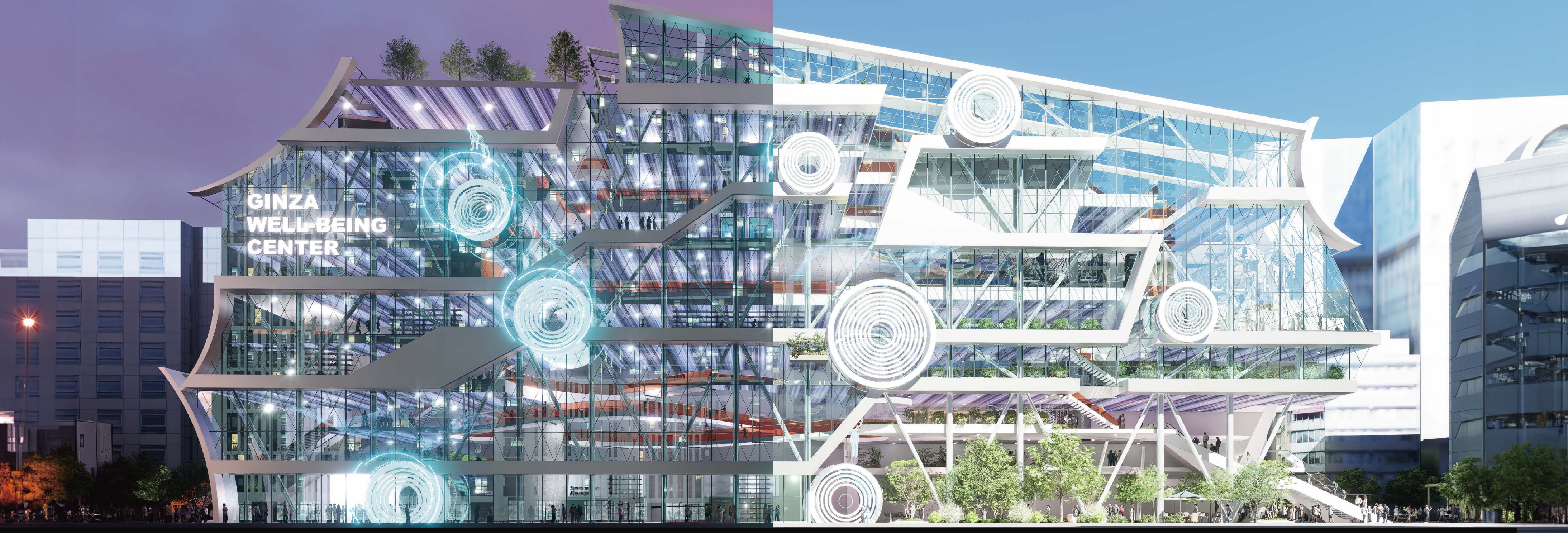


GINZA WELL-BEING CENTER

- 健康の民主化を目指した公共的な運動型商業施設の提案 -



00 日本を代表する商業地 銀座



多様な文化を発信してきた最先端な街

銀座は「GINZA SIX」、「東急プラザ銀座」、「松屋銀座」など伝統と革新が融合した日本を代表する商業の街として知られる。銀座では銀プラなど多くの流行や文化を常に世界に発信してきた世間の「あこがれ」を体現する影響力のある街である。

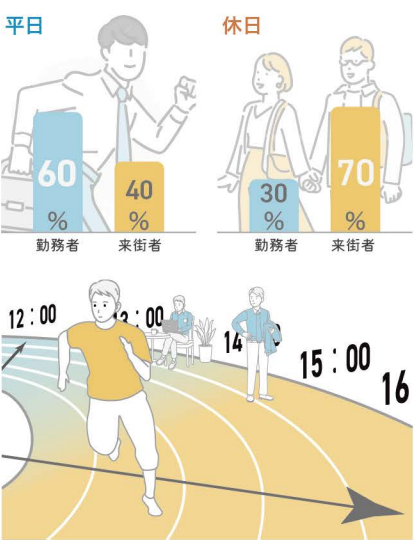
01 「モノ」から「心の豊かさ」へと変わる価値観



変化し続ける都市部でのライフスタイル。

私たちの生活はコロナ禍によって外に出て「モノ」を買う機会が大きく減少し、ライフスタイルが変化した。また近年では国を挙げて Well-being に対する取り組みが行われており、現代を生きる私たちは単なる経済的な幸せではなく、身体・心・社会的な健康が求められる。

02 「モノ」買う場から「生活の質」向上の場へ



平日は勤務者が過半数を占める。

中央区銀座、多くの来街者が溢れかえる街のイメージであるがそれは休日に限る。平日は来街者が4割で勤務者が6割であり、休日では来訪者が7割で勤務者が3割である。実際には多くの勤務者が平日に銀座を訪れる。

自由な働き方が認められてきた社会

日本の経済の中心である東京は、国際的な40都市のなかでもっとも「働きすぎ」とされている。しかしその風習は改善されつつあり、残業時間は減り自由な時間が増え、固定時間に縛られないフレックスタイム制が導入され始め一日の使い方が多様になりつつある。

- 提案 -

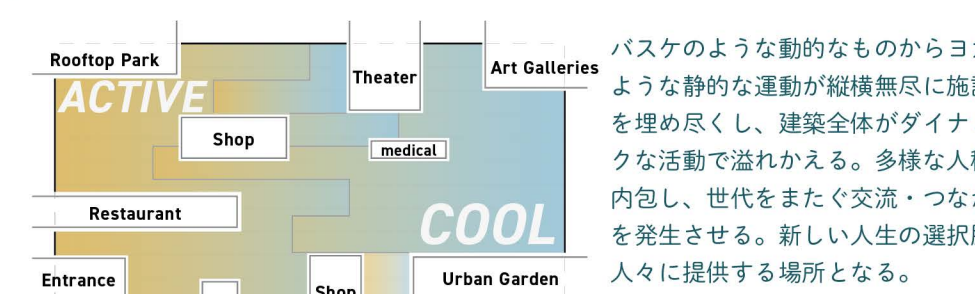
全ての人の生活に

「運動」を取り入れた新たなライフスタイル

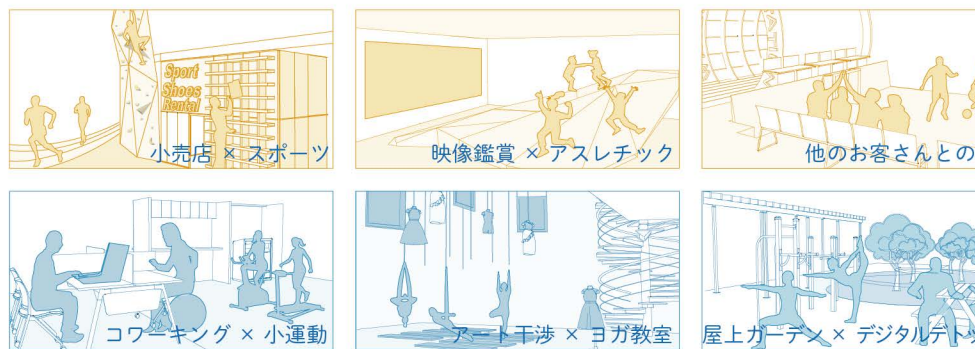
本建築では商業と運動体験を掛け合わせた新しい商業施設の在り方や従来のフィットネスジムのビジネスモデルとはかけ離れた、公共的なフィットネスを実現するソフトな提案によって、身体的・精神的な健康促進を図る新たなライフスタイルを提案する。

03 解釈を広げ運動への敷居を下げる建築

静的空間と動的空間が折り重なり様々なアクティビティを誘発する



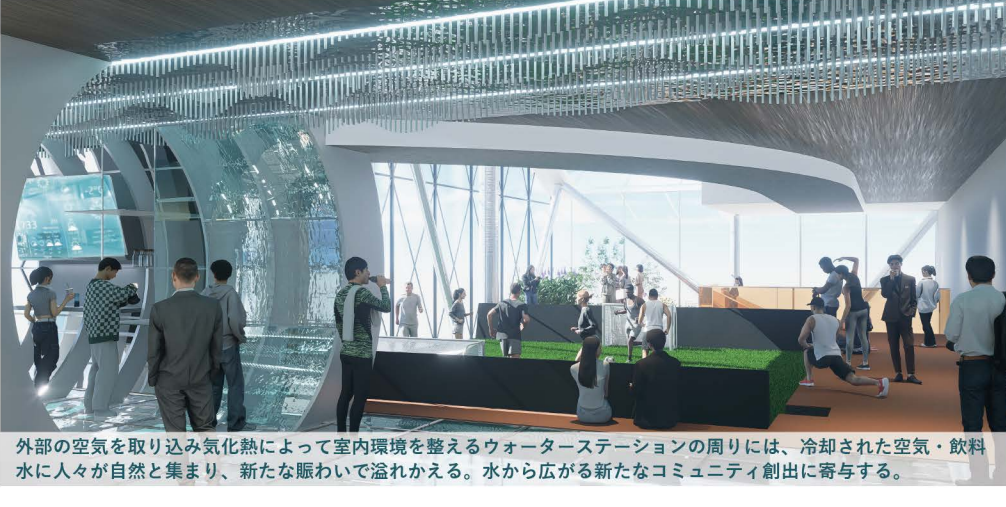
体を使う × 商業店舗 - 従来の商業と運動のコラボレーション -



商店店舗のポテンシャルを最大限に引き出しビジターに消費活動にプラスして体を使った「体験」を届け、新たな消費体験が運動へ対する敷居を下げ生活サイクルの一貫として運動を助長する役割を担う。



巨大な吹き抜け空間の中でアート作品を平涼しながらのびのびとヨガやストレッチなどの運動を行うことができるフレキシブルな空間。複雑な都市空間から精神的に解放され自分自身と見つめあう時間を過ごす。



外部の空気を取り込み風化熱によって室内環境を涼めるウォーターステーションの周りに、冷却された空気・飲料水に人々が自然と集まり、新たな賑わいで溢れかえる。水から広がる新たなコミュニティ創出に寄与する。



特徴的な外観をもつウォーターステーションは人々を連入れるエンタランスの役割も担う。公共空間を多く取り入れた本施設は都市空間におけるオアシスのように銀座を歩く人々が自然と集まり賑わいをもたらす。



夜になれば coworkingスペースで仕事をする人、バーでお酒を飲む人、目的の異なる人々が共有する空間となる。テラスチャの異なる素材で空間を分けると、自分のお気に入りの場所を見つけることができる。

04 公共的な運動施設の実現 - 銀座の周辺企業との法人契約・飲料メーカーとのタイアップ -

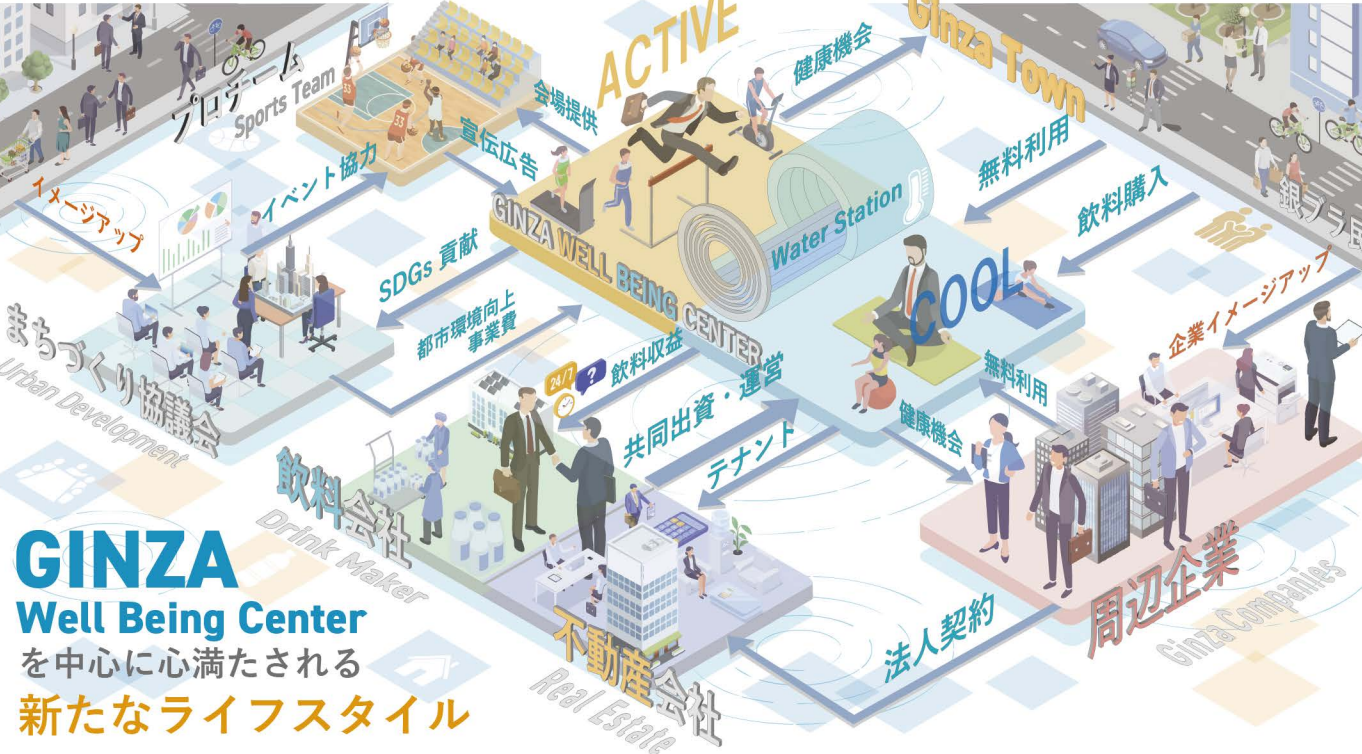
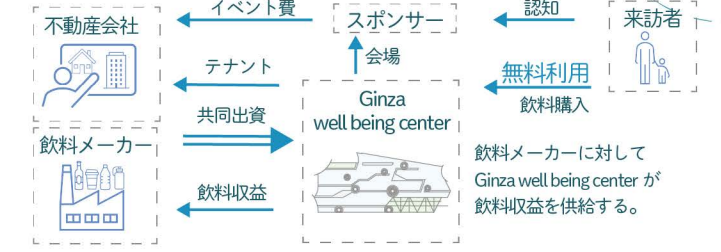
周辺企業との提携

健康経営の代行施設として施設と周辺企業の法人契約によって施設利用料をまかなう。



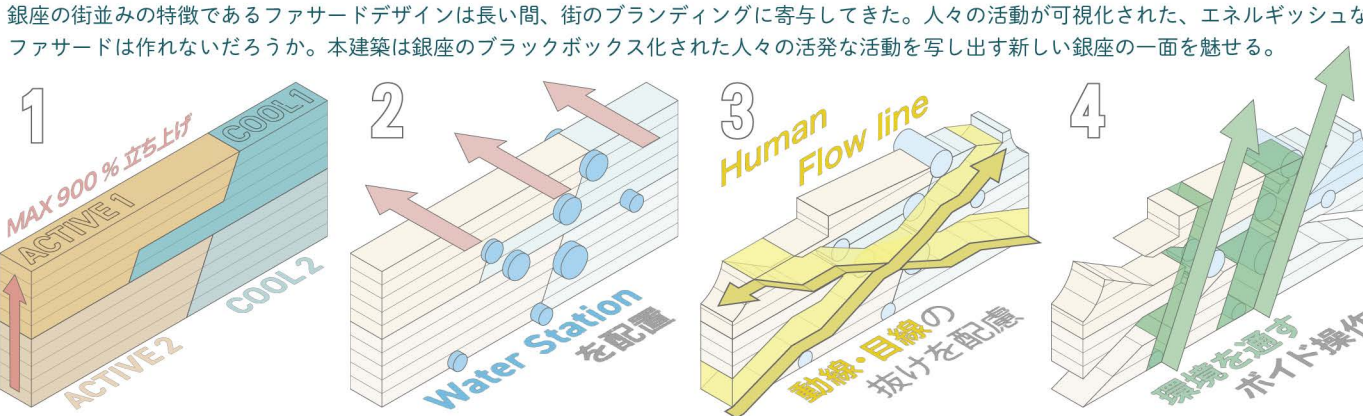
飲料メーカーとのタイアップ

施設を無料開放し人々を集め、水分、商品売上とイベント時のスポンサー費で施設利用料をまかなう。

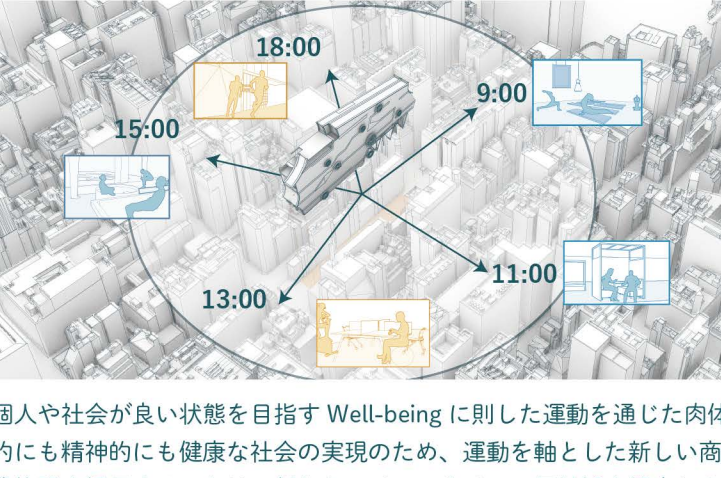


06 建築の形態操作 - ダイアグラム

活発な内部空間が水の波紋のように街に広がり、未来のGINZA ライフを街から日本中へと波及する。

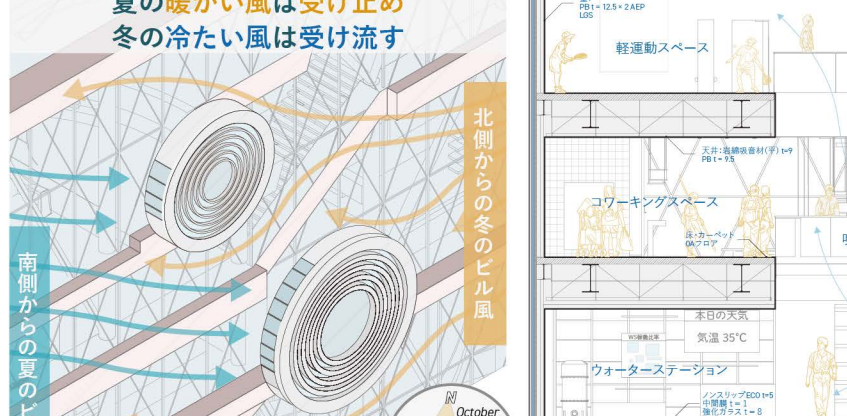


07 銀座から心身ともに健康な商業都市

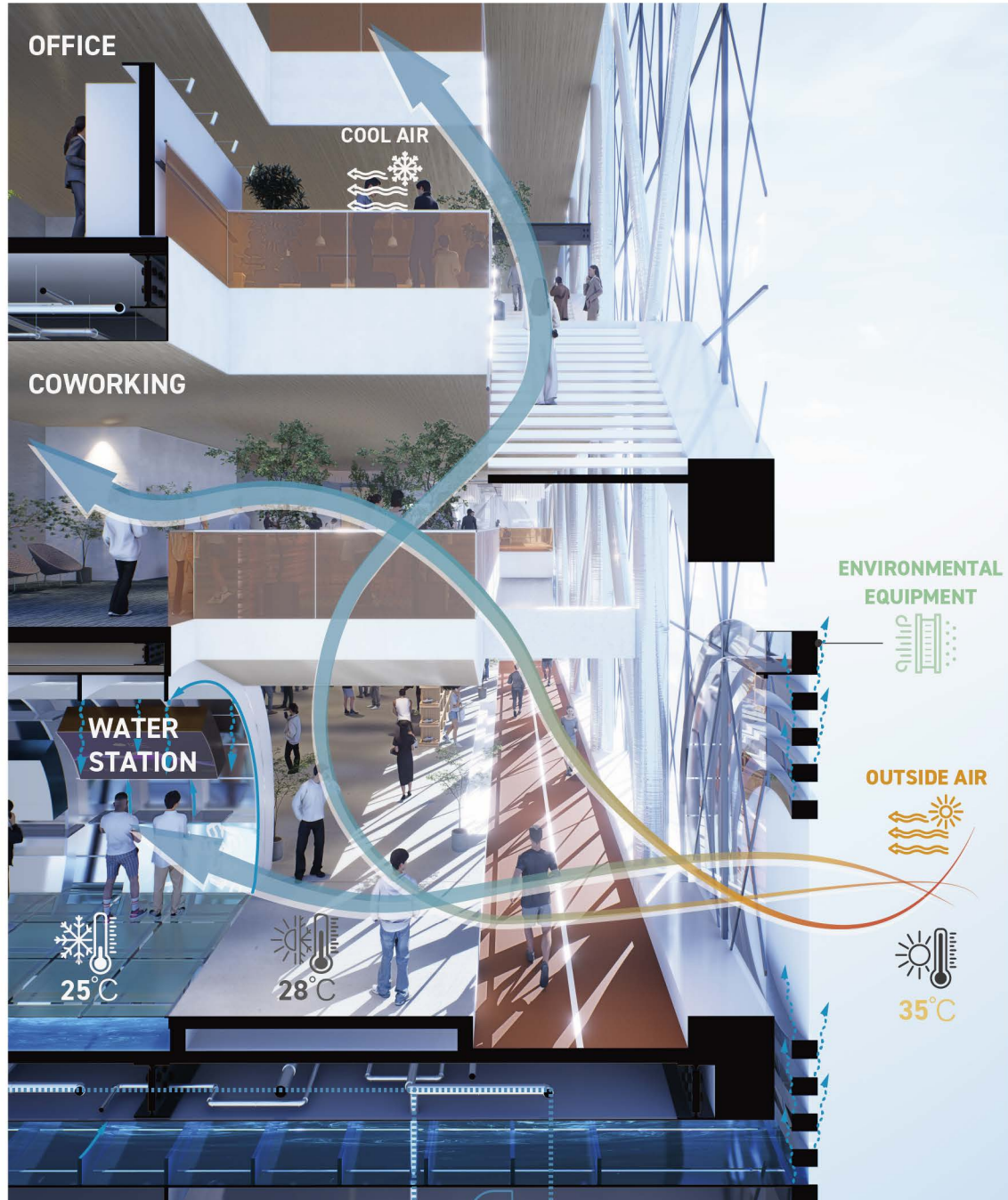


08 人・自然環境に寄与する環境計画

運動に快適な室内空間を維持するための環境計画



09 心地の良い場所をつくる工夫 - 断面パース -



10 人々のライフスタイル、社会的インパクトを起こす。 - 全体構成 -

